

【注意喚起】履修登録の内容をあらためて確認してください！**（A セメスター／A1・A2 ターム）**

近年、履修登録等の手続きの不備により、「前期課程修了要件」を満たせずに留年をしてしまう学生が多く見受けられます。今一度、『履修の手引き』の「前期課程修了要件」と自身の成績表を参照し、単位取得すべき科目と履修科目の確認を行ってください。期限後の提出や登録は一切認められません。また、履修登録・訂正を行った後は、PC 版 UTAS の履修登録画面の左下部「履修科目控出力」より履修科目控をプリントアウトし、出力した PDF ファイルとともに必ず保管しておいてください。

履修登録は必ず UTAS から行ってください。UTOL の受講登録は UTAS の履修登録とは異なります。UTAS で履修登録されていない授業は試験を受けられず、成績も付きません。

既に「[2024 年度 A セメスター 履修登録について](#)」等で各種手続の周知を行っていますので、必ず確認してください。また、以下に履修登録時の手続きの不備が多く見受けられるものを例示しますので、あらためて確認してください。

なお、各科目の単位数は『履修の手引き』p.9 に記載されているとおりです。

◎他クラス聴講（単位未取得の 1 年次基礎科目）

「[履修認定カード電子版](#)」による手続きが必要となります。原則として、A セメスター／A1 ターム開講科目の「履修認定カード電子版」申請期限は 10 月 28 日（月）16 時 50 分までです。

ただし、「[【重要】履修登録について](#)」で別途申請方法を案内している、特別な手続きを要する科目はこの限りではありません。

◎要履修許可科目登録（初修外国語初級(演習)②など）

「[履修認定カード電子版](#)」の申請が必要となります。A セメスター／A1 ターム開講科目の申請期限は 10 月 28 日（月）16 時 50 分までです。

「履修認定カード電子版」の手続後、内容に不備がなければ、申請日から起算して 3 営業日（土日祝日を除く）以内に UTAS「履修登録」画面に反映されます。（UTOL ではなく）UTAS で履修が登録されたことを必ず確認してください。申請したにもかかわらず UTAS に反映されない場合は、[前期課程問い合わせフォーム](#)から連絡してください（締切日から 4 営業日以降の申し出は受け付けられません）。

◎英語中級・上級 追加募集

「A セメスター/A1 ターム」開講分および「A2 ターム」開講分は、ともに専用フォームからの申請となります（手続方法は異なります）。詳細は前期課程ウェブサイト「教務課からのお知らせ」の通知「[【2024A】英語中級・上級の抽選結果公開および追加募集について](#)」を確認してください。手続期限は A セメスター/A1・A2 タームのいずれも 10 月 22 日（火）16 時 50 分までです。

◎基礎科目（社会科学・人文科学）・総合科目・展開科目・主題科目等

UTAS「履修登録」から登録を行ってください。特に、社会科学・人文科学・総合科目については、『履修の手引き』に記載の各種条件・要件のうち、「科類の要件」や「系別の単位取得条件」（「○系列以上にわたり」など※）に注意してください。注書が付されている場合には、注書に書かれている内容も条件に含まれます。

※例えば、理科生は「総合科目 E F 系列を 2 系列以上にわたり 6 単位取得する」必要があるところを、E 系列か F 系列のどちらか一方のみで 6 単位取得しても、修了要件を満たしません。

2年生のAセメスター／A1・A2ターム開講科目の履修確認・訂正期間は 10月23日(水)10時～28日(月)16時50分までです。Aセメスター／A1ターム開講科目については、この期間後には履修の追加や削除を行うことはできません。

◎その他注意事項

- ①履修に関してのお知らせは、前期課程ウェブサイト「[教務課からのお知らせ](#)」で案内しています。必ず確認するようにしてください。
- ②履修登録の手続、前期課程修了要件の確認等は必ず自身の責任において行ってください。また、各手続は日程に十分に余裕をもち、不備のないよう対応してください。所定の期間後の対応は一切できません。
- ③「基礎科目・展開科目・総合科目・主題科目の最低単位数の他に取得しなければならない単位数」を失念しているケースが見受けられますので注意してください。なお、この単位数に含めることのできる上限単位数は以下のとおり決められています。
 - ・基礎科目〔社会科学〕〔人文科学〕はそれぞれ2単位まで（文科生のみ）
 - ・総合科目D系列の大科目〔身体運動科学〕の中の「スポーツ・身体運動実習」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ」、「スポーツ・身体運動実習Ⅰ（PEAK）」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ（PEAK）」は合わせて1単位まで（文科生・理科生共通）
- ④文科生が、総合科目L系列の初修外国語として履修するものと同一言語の「〇語初級(演習)②」の単位取得を失念しているケースが見受けられますので注意してください。
- ⑤理科生が、総合科目L系列の「既修外国語として履修するものと同一言語の科目から3単位（英語・日本語以外を既修外国語とする場合は2単位）」を取得する必要があるところ、既修外国語として履修していない言語とあわせて3単位を履修しているケースが見受けられますので注意してください。

例：既修外国語が英語の場合は、英語中級もしくは英語上級から3単位を修得する必要があります。
- ⑥既修外国語（英語以外）または初修外国語については、2Sセメスター終了時点で平均合格していない進学内定者は、2Aセメスターに特修クラスを履修して試験に合格しなければ進学できません。対象者はUTAS「履修登録」画面に表示されているか確認してください。
- ⑦平均合格対象科目について、平均合格していると勘違いして留年となるケースが散見されます。『履修の手引き』に記載の条件を満たしているか自身でよく確認してください。

参考リンク1：[【注意喚起】既修・初修外国語の平均合格の確認について](#) / 参考リンク2：[成績表の見方](#)
- ⑧「授業内での履修者選抜・抽選で当選したがUTASでの履修登録を失念していた」ケースが散見されます。教員により履修許可が得られた場合も、必ず所定期間にUTASから履修登録を行ってください。なお、履修許可が得られなかった場合は、所定期間に履修登録を削除してください。
- ⑨後期課程との合併科目を後期課程科目のコードで履修登録すると、前期課程の修了要件には算入することができませんので注意してください。

例：ヘブライ語初級（第三外国語） 前期課程コード 50136
ヘブライ語（2） 後期課程コード 08A9474 ※いずれも月曜3限の飯郷友康先生の同一授業です
- ⑩集中講義の中には、シラバスに「開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高い」と記載されている科目があります。該当する授業は、「前期課程修了要件」に算入されない前提で履修計画を立ててください。
- ⑪誤って予め履修登録されている科目を削除した場合は、登録期間内に[前期課程問い合わせフォーム](#)から申し出てください。
- ⑫UTASでうまく登録できない場合は登録期間内に[前期課程問い合わせフォーム](#)から申し出てください。
- ⑬履修の不備により前期課程を修了できない場合に対して、**一切の救済措置はありません**。自身の責任において、必要な手続きを所定の期間中に遺漏なく行ってください。

以 上